

山 岳 遭 難 発 生 状 況

(令和 8 年 1 月 1 日～令和 8 年10月18日)
地域部 山岳安全対策課

1 山岳遭難発生状況（暫定値）（令和 7 年数値は 1 月 1 日からの同期間数値）

区 分	発生件数	死 者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令 和 8 年	327	52	4	153	149	358
令 和 7 年	344	46	4	165	163	378
前 年 同 期 比	-17	6	0	-12	-14	-20

2 山域別発生状況

区 分		件 数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
北 ア	槍穂高	58	17.7%	9	0	31	24	64
	後立山	85	26.0%	17	1	31	52	101
	その他	38	11.6%	5	0	21	14	40
計		181	55.4%	31	1	83	90	205
中央アルプス		27	8.3%	1	0	13	15	29
南アルプス		9	2.8%	2	1	4	2	9
八ヶ岳連峰		32	9.8%	5	0	15	14	34
その他の山岳		78	23.9%	13	2	38	28	81
計		327		52	4	153	149	358

3 態様別発生状況

区 分	件 数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
転・滑落	92	28.1%	25	0	71	0	96
転 倒	73	22.3%	0	0	73	0	73
病 気	27	8.3%	10	0	0	17	27
道 迷 い	30	9.2%	0	0	0	40	40
落 石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪 崩	3	0.9%	2	0	1	0	3
落 雷	2	0.6%	0	0	2	0	2
疲労凍死傷	47	14.4%	3	0	0	52	55
不明・他	53	16.2%	12	4	6	40	62
計	327		52	4	153	149	358

4 男女別・年齢別比率

区 分	男 性					(人) 比率	女 性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
1 9 歳以下	1	0	1	6	8	48 20.2%	0	0	1	4	5	27 22.5%	13	75 20.9%
2 0 代	2	0	6	18	26		0	0	2	5	7		33	
3 0 代	1	0	5	8	14		1	0	5	9	15		29	
4 0 代	5	0	11	12	28	78	1	0	3	3	7	38	35	116
5 0 代	6	0	26	18	50	32.8%	1	0	20	10	31	31.7%	81	32.4%
6 0 代	15	2	20	24	61	112	3	0	20	8	31	55	92	167
7 0 以上	15	2	20	14	51	47.1%	1	0	13	10	24	45.8%	75	46.6%
計	45	4	89	100	238		7	0	64	49	120		358	
比 率	66.5%						33.5%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生（10/13～10/18）

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
10月13日	小川山	女	69	死亡	転落	2人パーティで廻り目平屋根岩付近をクライミング中、何らかの原因で、転落
10月14日	北アルプス 燕岳	女	54	無事救出	発病	単独で中房登山口から入山し、燕岳周辺の山小屋に宿泊中、体調不良となり、行動不能
10月15日	北アルプス 槍ヶ岳	男	74	死亡	滑落	10/11単独で上高地から入山し、何らかの原因により、滑落
10月16日	霧隠峰	男	62	行方不明	不明	10/11早朝から登山に出掛けたまま帰宅せず、行方不明
10月17日	布岩山	男	30	負傷	転落	8人パーティでロッククライミング中、懸垂下降をしていたところ、転落、負傷
10月17日	ハケ岳連峰 北横岳	女	71	負傷	転倒	3人パーティで北横岳から下山中、つまずいて転倒、負傷
10月18日	下伊那郡喬木村 毛無山	男	56	負傷	滑落	5人パーティできのご採りのため入山し、滑落、負傷
10月18日	ハケ岳連峰 硫黄岳	女	67	負傷	転倒	6人パーティで硫黄岳から下山中、浮き石に乗り、転倒、負傷

山岳安全対策課からのアドバイス

先週県内では、8件の山岳遭難が発生し、うち2件は死亡遭難、1件は行方不明遭難です。今年の山岳遭難の死者数は、52人（前年同期比+6人）で増加傾向となっています。登山を計画されている方は、今一度、登山計画をよく確認し、無理のない登山で冷静かつ慎重に行動しましょう。

《単独で登山に行かれる方へ》

- 登山計画書の『提出』と『共有』はされていますか？
- 登山計画書の記載事項は正しい内容ですか？

家族や友人、職場の同僚などから、『登山に出掛けたまま、連絡が取れず、帰宅していない。』等の通報があった場合、警察では、登山計画書の確認を行います。家族や友人等に登山計画書が共有されておらず、さらに提出されていない場合があります。その場合は、行方不明となっている登山者の足取りを調査するため、捜索開始までに時間を要します。必ず、『登山計画書の提出と共有』をお願いします。可能な限り、web版で提出し、登山用地図アプリを起動して登山してください。捜索開始までの時間が短縮できる場合があるので、スマートフォンを活用して登山をしましょう。

先週県内では、8件の山岳遭難が発生し、うち2件は死亡遭難、1件は行方不明遭難です。『登山計画書の提出と共有』をお願いします。可能な限り、WEB版で提出し、登山用地図アプリを起動して登山してください。登山計画書未提出・未共有→行方不明→山域の特定等、捜索開始までに時間を要します。